



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2020年05月11日 第969号「週刊五十嵐レポート」

きちんと理解して適切に怖がろう

コロナの前線にいる看護師のメールをいただいた。

大事なのは漠然と怖がらないで、きちんと理解して適切に怖がろう。空気感染はない。ふわふあ飛んでいるのではない。「接触」「飛沫」「人のツバ」。この見えない概念の理解が大事。マスクとマスクをしていれば基本的には感染しない。

実際の感染場所で多いのは居酒屋、外食店。ホールスタッフの手。毎回手指を消毒しなければ、ウイルスのついた皿を下げて、次の人の皿を運んでいる。感染の可能性は十分。(逆にここを対処すれば開店できる)

自ら気を付けていること。

1. 口から入るのが一番感染する。食べる前にドアノブなどどこも触らない状態にしてから爪や指と指の間をしっかり洗う。
2. 十分に睡眠をとる。
3. 現金は一切触らず全て電子マネー。
4. クラスタになっている場所や病院はできる限り避ける。
5. 携帯電話は食事中触らない。帰宅後は第一に消毒してから家に入れる。
6. マスクの表面は絶対に触らない。ポケットにしまった手は汚染されていると認識する。
7. タクシーに乗らない。コロナ患者は公共交通機関を使わず、タクシーを利用することが多い。

5月9日時点実質感染者7,206人、退院者8,127人になり、退院者が実質感染者を上回った。1日の感染者数も減少傾向。収束に近づいている。非常事態宣言も解除もしくは部分解除も近い。営業再開。飲食店を含む店舗は試行錯誤しながら動きつつある。

事業再開におけるコロナ対策をマニュアル化する。「きちんと理解して適切に怖がろう。空気感染はない。手洗い。消毒。マスク。3密を避ける。命を守りながら外部活動する時期に来了。挑戦していこう。

ちょっと
気になる出来事

月刊誌「致知」6月号に、織田邦男氏が「新型コロナウイルスに打ち克つ危機管理の要諦」を書かれていた。

指導者のリーダーシップとそれを支える国民のフォロワーシップの両者が一体となり危機管理に当たることが必要不可欠。

福沢諭吉の「国を支えて国に頼らず」。一人ひとりが自ら考え自ら動き、家庭や地域、国を支えていくのが自立した国家、個人のあり方。日本人はこの危機を契機に、自分でやるべきことが分からない「お上依存症」から脱却しなければならない、と。

Amazonのキンドルで「学問のすすめ」(0円)を読んできた。「独立とは自分にて自分の身を支配し、他よりすぎる心なきを言う」。「自由とわがままの界(さかい)は他人の妨げをなすとなさざるとの間にあり。

今読んでも色あせない。

「国を支えて国に頼らず」 こういう日本人であり続けたい。



一口メモ
知識

失敗を取り返そうとすると失敗する

失敗して怒ったり悔しくなって、次はやみくもに頑張ろうとする人がいます。

しかし、そういう人は、次も失敗するでしょう。悔しさや怒りのエネルギーは、なかなか成功の元になりません。失敗を取り返そうとすると失敗するのです。

まず、いまの瞬間のことに腰を据えて、行ってみましょう。そういう人が、成功の道を歩むのです。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時

●「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時~6時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

